

放送日変更のお知らせ NHK Eテレ「TVシンポジウム」

医療事故調査10年

～いま求められる医療とは～

2026年7月12日（日）午後2時30分～午後3時29分 放送

※NHK ONE でも“見逃し配信”されます

一日に医療を受ける人は約845万人。

短時間診療、医療人材不足など医療をめぐる状況は

不確実性を増し、今後「医療の質と安全」が維持できるのか、
大きな課題になっている。

2015年施行の「医療事故調査制度」は10年が経過。

治療や検査の過程で予期せず亡くなる医療事故は、

これまでに3800 件以上が報告された。

事故の要因のひとつが

医療者と患者のコミュニケーションの課題

医療が高度化・複雑化していくなか患者の安全と安心を

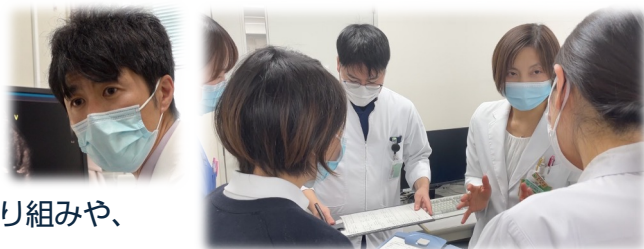
どう守っていけばよいのか、群馬大学で行われている

「カルテ共有」

「共同意思決定 シェアード・ディジションメイキング」の取り組みや、

医療事故で息子を失った豊田郁子さんの「医療対話推進者」の活動を通して、

いま求められる医療の姿を考えていく。



【出演者】

田中 和美 氏 (群馬大学医学部 医療の質・安全学分野教授)

豊田 郁子 氏 (医療事故当事者・イムスリハビリテーションセンター 東京葛飾病院 医療対話推進者)

木村 壮介 氏 (一般社団法人 日本医療安全調査機構 常務理事)



【司会】

三宅 民夫 氏 (元NHKエグゼクティブアナウンサー・立命館大学 衣笠総合研究機構 客員研究員)

この番組は市民公開講座「医療事故調査制度施行10年 患者のみかた～あなたにとって納得できる医療とは～」
(2026年1月17日配信) を編集したものです

制作：NHKエンタープライズ